

事業報告

平成20年度（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の事業の概況についてご報告申し上げます。

当期の日本経済は、100年に1回と言われる世界同時不況の波が日本を直撃し、企業の経営環境はこれまで経験したこともない厳しいものとなりました。とりわけ、下半期においては雇用情勢の悪化さらに個人消費の低迷など観光事業へ大きな影響を、また、輸出産業が集積している東海経済の落ち込みは大きく、企業収益が急激に悪化してきています。

このような経営環境のもと、当社では平成20年10月に名古屋テレビ塔の新しい魅力を生み出すべく愛知県で2番目となる「恋人の聖地」の認定を受け、新しいデートスポットとして独自のイベントを展開するなどお客様サービスの充実とともに前年に引き続く財務体質の改善など確実な再建計画の推進に努めてきました。

この結果、当期における有料入場人員は233,275人（前年に比べ0.9%減）、また、無料を含む総入場者人員は285,681人（前年に比べ2.6%減）となりました。これにより、当期における売上高合計は302,198千円（前年に比べ1.0%減）、販売費及び一般管理費合計は233,224千円（前年に比べ2.3%増）となりました。したがって、営業利益は68,974千円（前年に比べ10.7%減）となり、当期純利益は68,225千円（前年に比べ4.1%減）となりました。株主の皆様には、誠に心苦しい限りでございますが、前期に引き続き今期も無配とさせていただきますのでご理解の上、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年度事業は、世界的に広がった経済不況が日本の実体経済に深刻な状況をもたらし、一段と企業の経営環境は厳しいものと考えられます。この状況にあってテレビ電波の送信塔としての基本的使命を果たしつつ、現在の再建計画を着実に進めてまいります。また、平成23年予定のテレビ電波の休止以降のテレビ塔のあり方について魅力溢れる「新タワー」づくりに向け、役職員一同全力をあげる決意でございます。今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。